

授業科目名	マネジメントキャリア英語	担当教員	山中 俊之
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3年 第1クォーター		
講義内容	<p>TOEIC で高得点を取ることを目標にしながらビジネスの現場で使える英語力について演習を通じて、押さえるべきことを実践的に繰り返し練習する。</p> <p>教材としては、実践的な英語学習に定評ある「CNN English Express」及び TOEIC の単語や表現集を用いる。英語力を高めるために効果的であると各種研究からも指摘されており、講師の山中も日々取り組んでいるシャドーイングを授業中（及び宿題として）に練習する。</p> <p>毎回短い英語スピーチの練習をする。日本人が間違えやすい表現や文法についてもクイズ形式などで学んでいく。ロールプレイやグループでのディスカッションも多数入れる。</p> <p>授業はすべて英語で行うが、休み時間には日本語で質問を受ける。</p> <p>ダイバーシティやテクノロジー、移民難民問題など最先端の表現も多数取り上げる。英語は各人の能力の違いが大きいため、希望があれば個別に進捗状況を把握して可能な限り助言・コーチングを行っていく。</p> <p>なお、講師の山中も日々英語力を高めるべく尽力しており、学生の皆さんと成長すべく努力する。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC で各自が目標とする点数をとる。 ・ ビジネスの現場で使う英語のレベルや日本人の陥りやすい問題点について一定の理解がある。 ・ ビジネスの現場での基礎会話ができる。 ・ 英語の語彙数を大学受験時よりも大幅に増やして、「Japan Times」など日本発行の英字新聞が概ね理解できる。 		
授業計画	<p>第1回：ビジネスの現場に必要な英語のレベルとは、また TOEIC で高得点を取るには、自らの英語力を分析して対応策を立てる</p> <p>第2回：基礎的なビジネス会話の練習（自己紹介と自己の強み、弱み）</p> <p>第3回：基礎的なビジネス会話の練習（ファシリテーション）</p> <p>第4回：基礎的なビジネス会話の練習（ダイバーシティ）</p>		

	<p>第5回：基礎的なビジネス会話の練習（最先端テクノロジー）</p> <p>第6回：基礎的なビジネス会話の練習（新しい提案をする）</p> <p>第7回：応用的なビジネス会話の練習（部下指導）</p> <p>第8回：応用的なビジネス会話の練習（問題ある顧客への対応）</p> <p>第9回：ゲームを通じたリーダーシップ英語習得</p> <p>第10回：応用的なビジネス会話の練習（世界情勢を読む英語）</p> <p>第11回：応用的なビジネス会話の練習（交渉）</p> <p>第12回：プレゼンテーション</p> <p>※上記は一応の概案です。今後の検討や学生の皆さんの英語力、要望に応じて変更があります。</p>
事前・事後 学習	毎回自分の目標に応じた英語力強化に取り組んでもらいます。
テキスト	毎回関連資料を配布します。
参考文献	授業中に提示します。
成績評価 の基準	授業中の積極性（50%）、課題等への積極的な取り組み（50%）※課題への取り組みとは普段から自らの英語力を高めるためにいかに努力をしているかということ
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	
備考欄	R9 閉講（R8年まで）